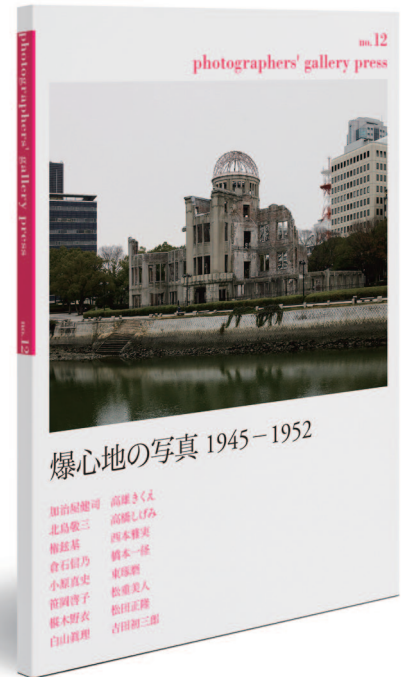


photographers' gallery press no. 12 発売のご案内

写真が発明されてから170年以上が過ぎようとしています。平和な家庭生活から戦場や災厄にいたるまで、写真は文字による以上に、時代のあらゆる出来事を記録してきたと言っても過言ではありません。しかし、その意義は思いのほか見落とされているのではないのでしょうか。原爆投下直後の広島を撮影した写真資料もその例外ではありません。

本誌では、1945年から1952年のプレス・コード解除（サンフランシスコ講和条約締結）までを中心に、広島で撮影された写真をあらためて見直し、詳細に検証していきます。原爆投下当日のキノコ雲下の惨状を唯一撮影した松重美人の5枚の写真、復興初期に制作された写真集『Living Hiroshima』、吉田初三郎による原爆鳥瞰図を収めた英文グラフィック誌『HIROSHIMA』。占領下での廃棄や接収あるいは決死の秘匿を経て、現在にまで残された写真資料を、わたしたちはどのように受け止めることができるのか。広島での調査取材をもとにした座談会や書き下ろし論考により、写真そのものから問い直す試みでもあります。



特集 爆心地の写真 1945-1952

Contents

写真 松重美人《松重美人の5枚の写真／1945年8月6日》全5カット掲載!

収録 吉田初三郎《原爆鳥瞰図》、『HIROSHIMA』(1949年、広島図書) 一冊まるごと(28頁)収録!

座談会 松重美人の5枚をめぐって／倉石信乃、小原真史、白山真理、橋本一径、北島敬三、菅岡啓子
『LIVING HIROSHIMA』をめぐって／倉石信乃、小原真史、白山真理、北島敬三、菅岡啓子
公園都市・広島／権鉉基、高橋まぐえ、東琢磨、松田正隆、菅岡啓子

テキスト 加治屋健司 紙の上の観光——『LIVING HIROSHIMA』と広島の国際観光地化
倉石信乃 不鮮明について——松重美人の写真、最初の1枚
西本雅実 原爆記録写真——埋もれた史実を検証する
東琢磨 顔と出会うこと
榎本野衣 広いシマの色——吉田初三郎の『HIROSHIMA』をめぐって
橋本一径 火災写真論 1886-1897

インタビュー 西本雅実 広島原爆写真を追って 聞き手・構成 菅岡啓子

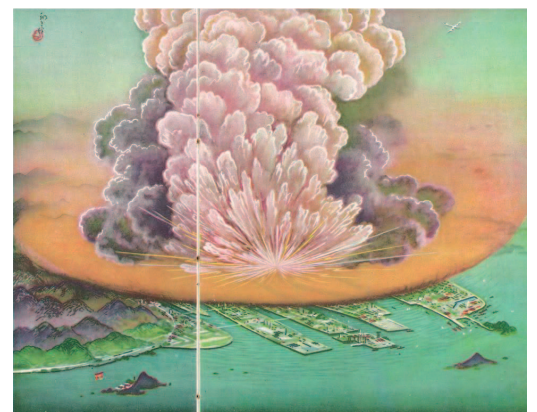
邦訳 『HIROSHIMA』ヒロシマ 高橋しげみ訳

B5判(W182×H257mm)／188頁

発行責任:北島敬三 編集責任:菅岡啓子

定価: 本体2500円+税

発売: 2014年11月25日



▲吉田初三郎《原爆鳥瞰図》、『HIROSHIMA』より

写真家たちによって編集されたもっとも濃密な写真誌。

▶ご注文はツバメ出版流通まで

FAX: 03-3721-1922

TEL:03-6715-6121

<http://tsubamebook.com>

mail:info@tsubamebook.com

貴店名 (番線印)

photographers' gallery

<http://www.pg-web.net/>

返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通:川人

photographers' gallery press no.12

B5判 188頁 定価2500円+税

ISBN978-4-907865-03-0 C 0072

ご担当: 様

冊